

特別号

Brownfields の歴史をみてみよう！

お疲れ様です。環境メルマの佐藤です。

これまでの環境メルマを振り返り、米国の廃棄物・土壌環境の政策、ブラウンフィールド再開政策の動きを時系列で眺めてみましょう。

1976年 自然保護回収法（RCRA）制定

→Topic19 参照：ミッドナイトダンピング（不法投棄）が問題になっていたのですよね。

1978年 Love Canal 事件

→Topic39 参照：IC 情報の効果もむなしく再開発が進んでしまったのです。

1980年 スーパーファンド法（CERCLA）制定

→Topic19 参照：厳格な汚染原因を問う法律です。

1986年 スーパーファンド法に修正条項加わる（SARA）

→Topic25 参照：AAI の概念の登場です。

1990年 フリートファクターズ判決

→Topic13 参照：レンダーさんにとっての苦い経験となりました。

1990年頃 州の自主浄化プログラム（VCP）が立ち上がってくる。

→Topic19 参照：当初はだいぶ試行錯誤を繰り返しました。

1992年 USEPA がレンダー責任を明確化する文書を発行。

1993年 ASTM インターナショナルが Phasel の規格を初出版。

1995年 USEPA ブラウンフィールド パイロットプログラム開始

1996年 レンダー責任法（Lender Liability Law）制定。

第1回 米国ブラウンフィールド会議が開催。

1997年 ASTM の Phasel 規格改訂（E1527-97）。

ブラウンフィールド再開成功事例におくられるフェニックスアワードが創設。

1998年 ブラウンフィールド ショーケース コミュニティー（16地域）が選定される。

2000年 ASTM の Phasel 規格改訂（E1527-00）。

2002年 スーパーファンド法に修正条項加わる。いわゆるブラウンフィールド法制定。

→USEPA からの助成金制度の充実、州政府のブラウンフィールド政策を支持。

「Brownfields」 Todd Davis 著出版。

2005年 第10回ブラウンフィールド会議開催。

新 AAI が制定。ASTM Phasel 規格改訂（E1527-05）。

2006年 1年の移行期間を経て AAI 本格始動

2007年 ブラウンフィールド会議は開催されません。次回は 2008 年の春に開催予定。

如何でしょうか。約 30 年の動きをザッと箇条書きにしてみました。おそらくこの年表をみて思うところは、それぞれの立場によって違うのでしょうか。

スーパーファンド法制定後、時間はかかりましたが、汚染サイト再開の浄化責任範囲の明確化が進められ、最終的に州主導でブラウンフィールド開発が進められる政策が確立しました。州の自主浄化プログラム運営においては、ブラウンフィールドサイト再活性を促進させるツールを徐々に開発し、USEPA はその運営を援助・尊重するかたちで助成金制度を確立。USEPA および ICMA がブラウンフィールド会議を開催し、多様なステークホルダー間でのコミュニケーションや州間における情報交換が爆発的に促進。国内の成功事例から挺入れのヒントを学び、新たな成功事例が生まれてきました。

いろいろありましたが、ついに毎年恒例となっていたブラウンフィールド会議が、来年は開催されないようです。米国のブラウンフィールド再生は成熟期に達し、毎年会議を開く必要性がなくなってきたという解釈をするのが自然でしょうか。

しかし、いまだに熱く議論がなされているトピックがあります。それは **Institutional Controls** です。元 ICMA でブラウンフィールド関連の研究調査、啓蒙活動を行っていた Schilling 教授によれば、「ブラウンフィールド再開サイトに残された汚染をしっかりとモニタリングし、長期にわたる情報伝達が実施されて、はじめてブラウンフィールド再生が成功したといえるのだろう。表向きは米国のブラウンフィールド再生が成功しているようにみえるが、まだまだ固まっていない。今後は、長期にわたる汚染サイトについてのハード・ソフトのメンテナンスが課題となる。つまり **Institutional Controls** をどのように運用していくか考えていかないとね。」

リスクベース浄化が実施されている米国において、次なる課題は IC のようです。

今後も環境メルマは特別号で IC について皆さんを考えていきたいと思っています。

今回の環境メルマ Topic57 は、12 月 1 日にお送りいたします。お楽しみに。

Thanks God, It's Friday!
Thanks God, It's Brownfield!

環境メルマ 佐藤 (t.sato@ers-co.jp)

《おわび》

先週はボストンで開催された **Brownfield** 会議について、現地からメルマを発信しましたが、サーバーの調子が悪く、何人かの方にはうまく届いていなかったようです。おっしゃっていただければ、あらためて発信いたします。どうもすみませんでした。 (坂野)